

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○活動や体験を通して身近な「人・もの・こと」に進んでかかわり、問題を見つけたり自分なりに工夫して問題を解決したりする楽しさを味わおうとする子どもを育てます。</p> <p>○まちとの関わりを通して、まちのよさや人々の思いに触れ、社会のルールや自分自身のあり方を考え、思いを実現しようとする子どもを育てます。</p> <p>○遊びや学習など、日々の生活において友だちとかかわる楽しさを味わい、互いのよさを知り、協力して集団生活を楽しいものにしようとする子どもを育てます。</p>

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	・学校・保護者・地域などの様々な人とかかわりを大切にした教育活動。	①縦割り活動である GTS 活動や、幼保小教育交流事業を計画的に実施し、異年齢相互の取組の充実を図り、相手意識と思いやりの心を育てる。②保護者や地域とふれあう活動を大切にし、学年相応の教材開発に努め、6年間一貫した取組とする。③自ら進んであいさつしたり、ルールを守ったりする姿を認め、規範意識や礼儀を大切にする取組につなげる。
担当		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学習状況調査結果を見ると、学力に比べて、学習意識や生活意識が低い。「勉強は好きですか」には「好きではない」と回答している児童が多い。「なにか一生懸命に取り組んでいることがある」や「家でお手伝いをしているか」の問いに対しても低い割合である。

自己肯定感や自己有用感を高め、自信をもち、人とコミュニケーションがとれるようにすることは大切である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に公開する。(年に1回以上)
- ・道徳教育について、家庭・地域等に発信する。
学校掲示板、学年だより等にて、家庭・地域に発信し、意識の啓発を図ると共に、連携して子ども達を育み、家庭・地域の指導力を道徳の時間に生かす。【視点1】

指針2 体験活動の充実

- ・なかよし活動、クラブ活動、児童会活動などの異学年交流活動を充実させる。
「なかよし活動」「児童会活動」「クラブ活動」などの「異学年交流活動」をより自主的、意欲的に行えるように計画・実行する。【視点3】
- ・長縄集会、ドッジボール大会などの「集団活動」を充実させる。
「長縄集会」「ドッジボール大会」などの活動に向け、「学級集団」で協力し合ったり、励まし合ったりする中で、よりよい生活や人間関係を築いていこうとする態度を育てる。【視点3】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・第3学年で取り組む「ふれあい給食」を継続させる。

第3学年で取り組む「ふれあい給食」を通して、地域の人とのつながりを深め、日頃の行いへの感謝の気持ちを表す。【視点7】